

平成29年度 事業報告書

■総括的概要

「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりのあり方が検討され、今後の具体的方向性が示されつつある中、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる為に人と人とのつながりや生活課題に向き合ってきました。

筑前町社会福祉協議会は、学童保育所の運営、ふれあいいきいきサロン事業、障がい者相談事業、配食サービス事業及びボランティアセンター運営、生活支援コーディネーター事業など町からの様々な受託事業や、赤い羽根共同募金からの配分金で実施する高齢者福祉事業、障がい者福祉事業、ボランティア団体や各種福祉団体支援など地域の皆様の期待に応えられるよう努めてまいりました。

又、地域の社会福祉法人や社会福祉施設と協働し、公益的な取り組みの検討・推進を図っています。

■事業別実績

1. 法人運営

(1) 法人運営事業

①会議の開催

ア) 理事会評議員会の開催

名称	期 日	内 容
監査会	5月17日(水)	・平成28年度決算監査
第1回理事会	6月 6日(火)	・評議員・理事・監事選出規程の一部改正 ・評議員候補者の推薦 ・役員候補者の推薦 ・28年度事業報告の承認 ・平成28年度収支計算書及び貸借対照表並びに財産目録の承認
第1回評議員 選任解任委員会	6月16日(金)	・評議員の選任
第1回評議員会	6月22日(木)	・評議員・理事・監事選出規定の一部改正報告 ・評議員の報告

第2回理事会	6月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の選任 ・ 平成28年度事業報告の承認 ・ 平成28年度収支計算書及び貸借対照表並びに財産目録の承認
第3回理事会	8月29日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長、副会長の選任
監査会	1月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州豪雨による災害ボランティアセンター運営支援報告
第4回理事会	3月5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度中間監査
第2回評議員会	3月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局長就任承認 ・ 平成29年度第1次補正予算の承認 ・ 平成30年度事業計画の承認 ・ 平成30年度予算の承認 ・ 評議員会の招集の承認
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局長就任報告 ・ 平成29年度第1次補正予算の承認 ・ 平成30年度事業計画の承認 ・ 平成30年度予算の承認 ・ 評議員会の招集の承認

②定款改正に伴う諸規定等の整備

定款細則、経理規定等の整備を行いました。

(2) 組織運営及び機能強化

①財務運営管理

適切な財務管理に努めました。

②個人情報保護法への対応

個人情報の守秘義務の認識及び漏えいの防止を厳守しました。

(3) 役職員の資質の向上

① 障がい者福祉

朝倉地区障害者自立支援部会子ども支援部会 研修	6月16日(金)・11月17日(金)
精神障がい者地域支援研修	6月15日(木)・7月13日(木) 10月18日(水)・1月10日(水)
精神メンタルケア研修	3月22日(木)
発達障がい・重度障がい支援研修	6月6日(火)・12月6日(水)
障害支援区分認定調査員研修	6月23日(金)
障害者相談支援専門員初任者研修	6月7日(水)・6月8日(木) 7月25日(火)・7月26日(水) 8月28日(月)
障害者相談支援専門員研修	1月25日(木)・3月19日(月)
相談支援事業所管理者集団指導	12月15日(金)

②地域福祉

第8回九州4県社協職員合同研究会議	12月6日(水)～7日(木)
福岡県地域活動職員連絡会総会、研修	5月19日(金)・1月12日(金)
福岡地区地域福祉活動職員連絡会	7月24日(月)
両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会	4月14日(金)・2月7日(水)
両筑地区ボランティア担当者意見交換会	4月11日(火)・3月23日(金)
ふくおかライフレスキュー事業 サポーター養成研修	7月24日(月)・8月30日(水) 1月17日(水)
ふくおかライフレスキュー事業 サポーターフォローアップ研修	1月26日(金)
第1回福岡県内公設NPO・ボランティア センター連絡会、研修	6月9日(金)

③社協職員活動

朝倉市災害ボランティアセンター運営支援	7月6日(木)～10月29日(日)
東峰村災害ボランティアセンター運営支援	7月11日(火)～9月10日(日)

※両筑地区社会福祉協議会災害時相互支援協定(平成23年5月締結)に伴い

朝倉市・東峰村災害ボランティアセンター立ち上げから閉鎖まで支援しました。

朝倉市災害ボランティアセンターへ 87日 延141人

小石原災害ボランティアセンター及び宝珠山サテライトへ 51日 延102人

(4) 事務局体制の整備

事務局機能の効率化と総合力を高め、企画・立案、事業運営能力の向上に努めました。

(5) 地域福祉活動計画の策定

町の第3次地域福祉計画改定に合わせ、30年度を準備期間、31、32年度で完成を目指すことにしました。

(6) 広報活動の推進（広報・ホームページ）

①「ちくぜん社協だより」を発行（5月・8月・10月・1月）しました。

「声の社協だより」（CD）を視覚障がい者、施設等に配付しました。

②町の「広報ちくぜん」に毎月掲載と町の防災無線を活用しました。

③ホームページに「ちくぜん社協だより」や福祉情報を掲載しました。

2. 社会福祉事業

(1) 独自事業

①心配ごと相談事業

日常生活の悩みや心配ごとの相談窓口として、他の公的機関との連携を図り問題解決に努めました。

毎月第1、第3金曜日の午後1時30分から午後4時まで、コスモスプラザ保健館の相談室で実施しました。

相談員 民生委員 4人 調停相談員 3人 人権擁護委員 6人
行政相談員 2人 母子相談員 1人

ア) 心配ごと相談

相談実績 41件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	6	5	4	3	5	2	3	3	3	2	3	2

相談内容事項ごとの解決状況

相談内容事項	相談件数	解決内容				
		解決	再来	民生委員	他機関	その他
生 計	3	1			1	1
年 金	0					
生 業・職 業	0					
住 宅	3		1			2
家 族 (嫁姑問題)	3		1			2

結 婚	0					
離 婚	2	1				1
健康・衛生	1					1
医 療	1				1	
精神衛生	1				1	
人権・法律	1	1				
財 産 (相続、財産分与)	9	3			4	2
事 故	0					
児童福祉・母子保健	0					
教育・青少年	0					
心身障害者 (児) 福祉	1				1	
母子・福祉	0					
老人福祉 (独居の買い物不自由、認知症)	1				1	
苦 情	5	1	1	1	1	1
その他 (災害後の家族の生活、借金、不安の解消等)	10	3		1		6
合 計	41	10	3	2	10	16

イ) 相談員研修 11月8日 (水) 相続制度・成年後見人制度について

(2) 受託事業

①ふれあいいいきサロン事業

おおむね65歳以上の在宅高齢者を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう地域のみんなが支え合い、共に元気で楽しく一日を過ごし、心を通わせる「よりあい」の場となるサロンに取り組みました。

- ・実 施 区 36地区 (新規開催 南高田区)
- ・延実施回数 377回 開催
- ・延参加者数 7,053人参加 (内65歳以上) 6,698人

ア) サロン代表者会議

各区のサロンが円滑に継続できるように3回実施しました。

- ・1回目 4月26日 (水) 年間計画について
- ・2回目 9月14日 (木) 合同交流会について

・ 3回目 2月13日(火) 29年度実績報告・30年度次年度計画
について

栗田区(結の会)活動報告

イ) 合同交流会

他地区の会員と親睦と、地域の連携を深めることを目的に、12月にめぐり館と下高場区公民館を会場に4班に分かれて開催しました。

4日(月)・7日(木)・11日(月)・14日(木)

・参加区数 34区

・延参加者数 605人

・来賓 延17人 ・応援隊 延35人 ・社協等 延24人

ウ) サロン指導員の名称変更

「サロン指導員」から「サロン応援隊」へ変更しました。

エ) 嘱託職員の配置

4月からサロン専任嘱託職員を配属しサロン内容の充実に努めました。

オ) その他

・小学生との交流 9区 小学生 111人 PTA 29人

・野外活動 34区

・買物支援 7区 38回

・各種講座 町の出前講座 36回 外部出前講師 16回

独自イベント 11回 社協講座 7回

②在宅高齢者等配食サービス事業

調理が困難な高齢者等に、栄養のバランスのとれた昼・夕食の提供と、安否確認を行いました。

配食サービス利用食数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月利用者	46人	44人	42人	43人	41人	42人
食数	1,283食	1,270食	1,209食	1,274食	1,164食	1,214食
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月利用者	48人	47人	44人	46人	46人	43人
食数	1,359食	1,374食	1,308食	1,098食	1,112食	1,226食
					合計	14,891食

③敬老館運営事業

	開館日数	入館者数
年 間	300 日	9,913 人

カラオケ、訓練器具利用状況

	カラオケ		訓練器具
	町内	町外	ハッピーライフ
年 間	197	0	25

*ハッピーライフは、3月29日（木）老朽化により撤去しました。

イベント開催

- 4月28日（金）健康レクササイズ
- 5月12日（金）すずめの会演芸
- 6月23日（金）美重秀会（三味線・尺八）の慰問コンサート
- 7月 7日（金）出前講座「熱中症予防」
- 8月 3日（木）すずめの会演芸
- 9月 8日（金）美重秀会（三味線・尺八）の慰問コンサート
- 10月12日（木）すずめの会演芸
- 11月29日（水）もやいの会演芸
- 12月19日（火）クリスマス会
- 1月26日（金）すずめの会演芸
- 2月14日（水）出前講座「レクリエーション」
- 3月28日（水）アイアイフレンズ「紙芝居」

④敬老館食堂事業

29年度売上状況

（単位：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上額	406,100	435,300	439,930	351,870	389,290	453,560
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上額	421,530	428,530	379,550	367,460	404,750	436,950
					合計	4,914,820

⑤放課後児童健全育成事業

入所児童数

	みわっ子SUN ² クラブ		のびのびクラブ		すくすくクラブ	
	4月初め	3月末	4月初め	3月末	4月初め	3月末
1年	37	27	18	17	28	24

2年	29	33	29	23	20	16
3年	18	10	9	10	8	5
4年以上	9	6	11	5	11	5
合計	93	76	67	55	67	50

※夏休みだけの受け入れ 0人

ア) 定員を大きく上回った学童もあり、安全第一での運営に努めました。

学童連絡会の開催

関係機関との連携と情報共有の場として、こども課担当者、家庭児童相談員、スクールソーシャルワーカー、各学童の主任と今年度から各小学校の担当教諭も参加で実施しました。

- ・ 3学童合同 4月 3月
- ・ のびのびクラブ 5月 8月 11月
- ・ すくすくクラブ 6月 9月
- ・ みわっ子 SUN²クラブ 7月 10月 1月

イ) 様々な研修会に参加し、入所児童の対応や保護者との連携に努めました。

研修会

- 6月16日(金) 自立支援部会子ども支援部会主催「将来を見据えた各ライフステージでの課題と支援」 4人参加
- 6月18日(日) 第42回全国学童保育指導員学校 3人参加
- 10月1日(日) 放課後児童支援員資質向上研修 6人参加
- 12月4日(月)、7日(木)、10日(日)、11日(月) 福岡県放課後児童支援員認定研修会 4人参加
- 1月16日(火) 要保護児童対策及び児童虐待防止対策研修会 1人参加

保護者会、役員会の開催

みわっ子 SUN²クラブ

6月6日(火) 7月13日(木) 3月22日(木)

のびのびクラブ

6月15日(木) 7月10日(月) 3月20日(火)

すくすくクラブ

6月13日(火) 7月11日(火) 3月23日(金)

ウ) 4月から嘱託職員を配属し、学童との連携強化を図るとともに、事務分担を行

い効率化に努めました。

⑥ 障害者相談支援事業

障がい者や介護者等からの各種相談に応じ必要な情報提供や助言を行いました

ア) 指定一般相談支援事業

(利用者数)

精神 247件 ・ 知的187件 ・ 身体221件 ・ その他2件
計657件

イ) 障がい者相談日

毎月第3火曜日に実施しました。

相談者数 5件

ウ) 障害支援区分認定調査

調査数 161件

エ) 指定特定相談支援事業

サービス等利用計画 21件

⑦ コミュニケーション支援（筑前町手話・要約筆記奉仕員派遣事業）

・利用登録者12人 通訳登録者20人 利用実績 31人

⑧在宅介護者の支援

在宅で介護している介護者が日頃の疲れを癒しリフレッシュすることを目的とし、同じ悩みをもつ者同士の交流、情報交換の場として実施しました。

そったく基金の活用で年3回実施しています。

・1回目 佐賀県唐津市

5月26日（金） 参加者 11人

30日（火） 参加者 9人

・2回目 太宰府市

10月25日（水） 参加者 17人

・3回目 花立山温泉

2月26日（月） 参加者 16人

ハンドマッサージでリラックス・認知症介護について

⑨生活福祉資金貸付事業

平成29年度貸し付け相談件数 53件

貸付決定 教育支援資金 2件

緊急小口資金 2件

総合支援資金 2件

⑩日常生活自立支援事業

平成29年度利用者	高齢者	1人	
	知的障がい者	1人	
	精神障がい者	5人	
	身体障害者	1人	計 8人

⑪ボランティアセンター運営事業

地域住民のボランティア活動について理解と関心を深め、更なる活動の推進・支援を行い地域福祉の推進を行いました。

・ボランティア登録者数	団体18団体	249人
	個人	42人
・ボランティア調整数	依頼	31件
	マッチング	29件
	延活動者	93人

・ボランティア依頼分野及び件数

障がい者分野	高齢者分野	子ども分野	地域活動分野
18件	5件	5件	3件

ア) ボランティアセンター運営計画の改定

町のボランティア活動推進計画（5ヵ年計画）が、総合計画（32年度施行）に合わせ改定延期のため、ボランティアセンター運営計画も延期しました。

イ) ボランティアフェスタの実施

7月9日（日）実施予定で準備をすすめていましたが、7月5日（水）九州北部豪雨災害の影響を受け、事業の中止を決定しました。

ウ) 各種講座等の実施

8月 1日(火)～3日(木)	小中学生のための手話体験講座	6人
9月 2日(土)	セラピューティック・ケア入門講座	8人
10月 4日(水)～11月 1日(水)	手話体験講座全5回(毎週水曜日)	6人
11月25日(土)	声のボランティア講座	13人
12月16日(土)	視覚障がい者向けガイドボランティア講座	13人
1月27日(土)	聞こえのサポーター講座	14人

※7月に予定していましたが、講師が災害対応のため延期になりました。

エ) 情報発信

センターだよりを6月、9月、12月に発行しました。併せて声のセンターだよりを配付しました。

オ) 情報共有

新規分野（環境分野・地域活動等）のボランティア活動発掘のために、関係組織や町の関係課と連携し情報を共有しました。

両筑地区社協のボランティア担当と連携し情報を共有しました。

⑫生活支援コーディネーター事業（生活支援体制整備事業）

高齢化が進行する中、自分の老後や地域の未来について、住民が主体となり助け合いの活動をすすめるべく、生活支援コーディネーターを配置しました。

地域住民や介護関係者のネットワークや既存の取組み・組織を活用しながら、資源開発、関係者のネットワーク化、地域の支援ニーズとサービス提供主体のマッチング等のコーディネート業務を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取組みを推進しています。

生活支援コーディネーター連絡会	4回
地域ケア会議	10回
見守りネットワーク会議参加	6区
老人クラブ（女性リーダー・支援活動員）会議	9回
協議体等	7回
研修会等	4回
地域への訪問等	14回
その他打合せ等	34回

(3) 共同募金配分金事業

A. 高齢者福祉事業

①サロン応援隊の育成（ふれあいいきいきサロン）

・レクリエーション研修を実施しました。

6月10日(土)	健康レクササイズ	参加者10人
6月24日(土)	健康レクササイズ	参加者11人
6月24日(土)	ガンバルーンボール	参加者10人
7月1日(土)	ガンバルーンボール	参加者7人

・毎月定例で勉強会を実施しました。

②ひとり暮らし高齢者のつどい

70歳以上のひとり暮らしの方を対象に、閉じこもり予防、いきがづくり、交流

を図ることを目的に開催しました。

大分県別府市 11月 7日(火) 参加者 39人

10日(金) 参加者 28人

③敬老の日祝い事業

敬老の日祝いとして、白寿(99歳)と米寿(88歳)になられた方に記念品(商工会商品券)を贈呈しました。

白寿 10人(10,000円) ・ 米寿 144人(5,000円)

④金婚お祝い事業

結婚50年を迎えられた29組のご夫婦に、お祝いの記念品を贈りました。

B. 障がい者福祉事業

①障がい者のつどい

障がい者(児)の地域における社会参加と、情報の提供、他者との交流を図りました。

・11月15日(水) コスモスプラザ保健館 多目的室

内容：事業者紹介・レクリエーション

参加者： 82人

②重度障がい者の交流会

ひとりで外出が困難な障がい者(児)が安心して外出できる機会を提供し社会参加と他者との交流を図りました

・3月15日(木) 花立山農研ファーム(いちご狩り)

参加者： 16人

③福祉機器の貸与

・車いす等 45件

・福祉用具(アイマスク、白杖、点字版等) 7件

・レクリエーション用具 33件

④身体障害者福祉協会の活動支援

協会の活動支援や、団体の連携、調整を行いました。

C. 児童・青少年福祉事業

①小学生の福祉教育の推進

11月15日(水) 三並小学校4年生 コスモスプラザ見学と社協事業の紹介

12月 5日(火) 三並小学校4年生 視覚障がい者、ガイドボランティア
インタビュー

②福祉教育教材「ともに生きる」の配布

三並小学校 12冊

三輪小学校 125冊

D. その他の福祉事業

①ボランティア連絡協議会主催事業への支援

ボランティア連絡協議会が、主体的に運営ができるように側面から支援を行いました。

② ボランティア連絡協議会への助成

ボランティア連絡協議会及び各団体の活動維持、発展のために助成を行いました。

③バス停の管理

- ・松延バス停(上り)、栗田バス停(上り)電灯の交換を行いました。
- ・石櫃バス停(上り)、栗田バス停(上り)バス停待合所の補修を行いました。

E. 福祉団体への配分及び支援

老人クラブ連合会・身体障害者福祉協会・母子寡婦福祉会・遺族会
ボランティア連絡協議会・小中学校・共同作業所への配分を行いました。

(4) その他

A. 筑前町社会福祉法人連絡会

①筑前町社会福祉法人連絡会

筑前町の社会福祉法人が集まり、社会貢献活動について意見交換を行いました。

第1回 7月18日(火)

参加法人 朝倉苑・朝老園・菊池園・ほっとスペースあさくら・社協

- ・連絡会の継続開催について
- ・ふくおかライフレスキュー事業について

講師：粕屋地区連絡会 会長 安河内達氏

【(社福)三活会 特養ホーム緑の会 副施設長】

第2回 2月16日(金)

参加法人 朝倉苑・菊池園・菊水苑・朝老園・社協
ほっとスペースあさくら・第2野の花学園

- ・町の災害時避難行動要支援者について
- ・サポーター活動状況報告

②サポーター部会

ふくおかライフレスキューサポーター養成講座を受けた社会福祉法人の職員
10人で構成し、8月9日(水)に県社協から事業趣旨説明を受けて、毎月部

会を開催しました。

- | | | | |
|--------------------|---------|----|--|
| ・部 会 | 7回 | | |
| ・民生委員・児童委員協議会へ事業説明 | 2月7日(水) | 7人 | |
| ・糸島地区連絡会へ視察研修 | 2月8日(木) | 6人 | |